



2011年11月
第4号

発行 社会医療法人 福島厚生会
福島第一病院 内視鏡室

胃瘻あれこれ

～胃瘻の基礎から管理方法まで～

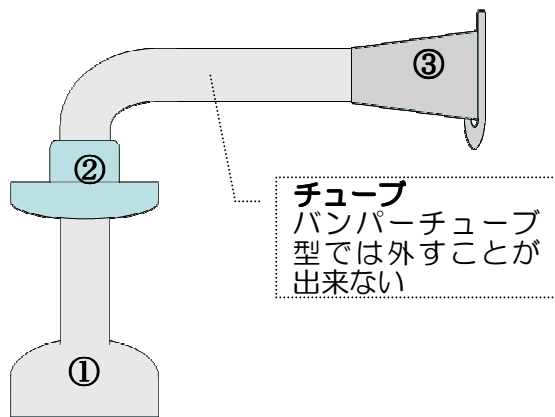
第4号からは、胃瘻カテーテルの管理方法の説明の前に、今回は胃瘻カテーテルの各部の名称と役割について説明いたします。
カテーテルについて理解しているとトラブル時などの連絡がスムーズになります。

胃瘻カテーテルの各部の名称と役割

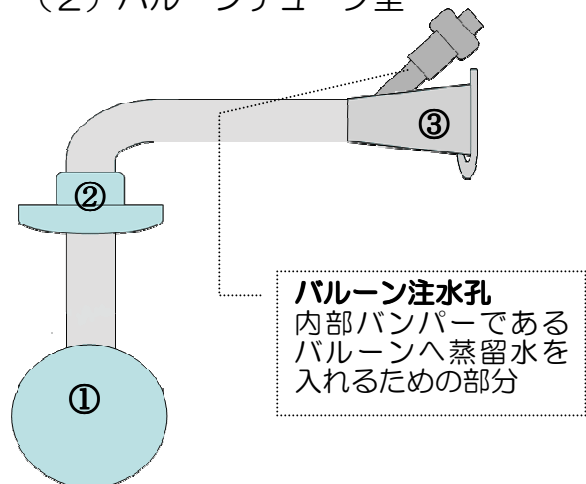
形状に関わらず共通の名称と役割

- ①内部ストッパー：胃の中にあるので見えませんが、胃から抜けないようにする
- ②外部ストッパー：お腹の外側にあつてカテーテルが胃の中に入り込まないようにする
- ③フィーディングアダプタ：栄養剤の入った容器（ボトル等）からの栄養管と接続する

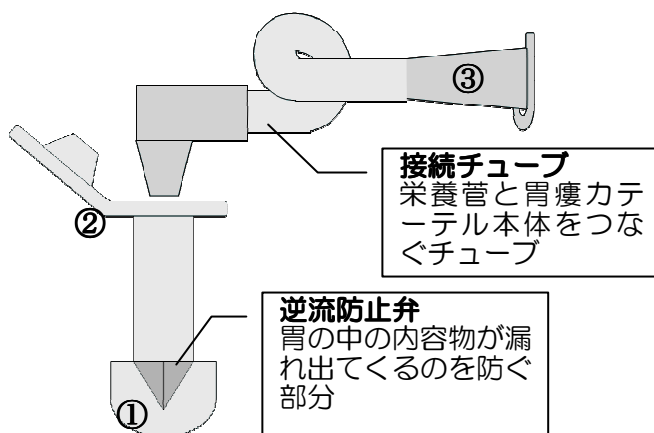
(1) バンパーチューブ型



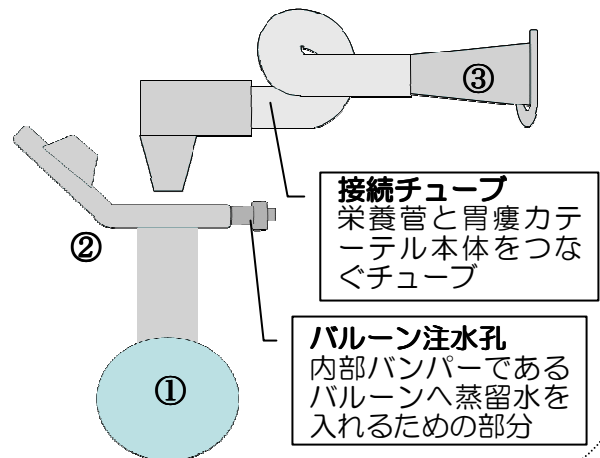
(2) バルーンチューブ型



(3) バンパーボタン型



(4) バルーンボタン型



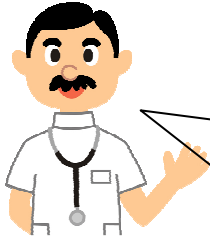
胃瘻に関する問い合わせ

福島第一病院 地域連携室 Tel 024-557-6601

内視鏡室 Tel 024-557-5111 (代) 内線 155

胃瘻についての疑問にお答えします！

Q1：ボタン型に形の違うチューブが入っているのですが何に使うの？

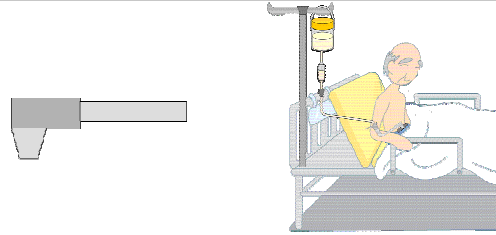


A1
ボタン型の胃瘻カテーテルには、ほとんどの製品に2本程度、形の違うチューブが付いています。
形が違うのには、理由があります。
接続部分の形状の違いには大きく分けて3種類あります。(下記参照) 必要に応じて使い分ける必要があります。

接続部が短く直角に曲がっているチューブ

【持続投与用チューブ】といいます。

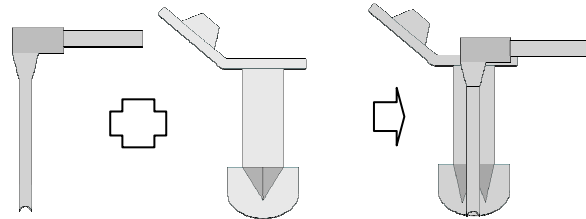
日常、滴下による栄養剤や薬剤を投与する際に使用します。



接続部が長くなっているチューブ

【減圧用チューブ】といいます。

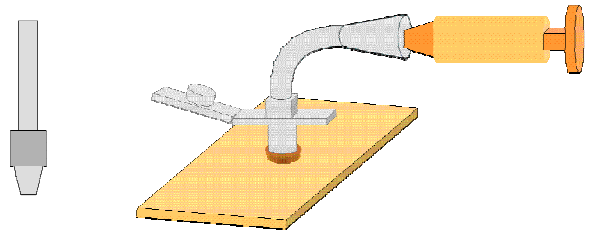
使用の目的は、胃の中にガスが溜まって張っている時に、カテーテルに差し込み逆流防止弁を開放する時に使います。



接続部が短く真っ直ぐになっているチューブ

【ボラス投与用チューブ】といいます。

ボラス投与とは、半固形栄養剤など硬さ(粘性)のある栄養剤を注射器などで押し込む投与方法です。
力をかけて押し込む時に使用します。



福島第一病院のホームページに胃瘻あれこれのデータを掲載しました。

直接アドレスを入力する場合は

<http://www.daiichihosp.jp/daiichi/sinryouka/shoukaki.htm>

【福島第一病院トップページ下部の診療科のご案内→消化器科と進んでください。】

社会医療法人 福島厚生会
福島第一病院

診療科紹介

内科	外科・泌尿科	消化器科
循環血管センター	整形外科	整形外科・リウマチ科
透析室	産科	

福島第一病院 内視鏡室発行

胃瘻あれこれ～胃瘻の基礎から管理方法まで～

- 第1号(2011.8).pdf
- 第2号(2011.9).pdf
- 第3号(2011.10).pdf
- 第4号(2011.11).pdf

消化器科

当院内科には、消化器科もあり、消化器全般を広く診療しています。高度病院へ依頼する早期食道癌のEMR、実直・胃静脈瘤の内視鏡治療、総胆管内腫瘍など以外は本院当院で手がけています。検査件数は多いのよであり、年々消化器科胃瘻400例、大腸癌198例、膵臓がん130例、大腸がん1150例(胃腸別達率97%)393例とです。

- ・ カラーで内容を確認して頂けます。
- ・ 各御施設内で勉強会などに印刷してご使用いただけます。(ご使用の際には、ご一報いただけますとありがたいです。)

*ファイルはPDF形式にて保存されていますので、閲覧には Adobe Acrobat Reader が必要になります。